

4100人調査！

# 第4回通信制高校卒業生 アンケート調査

## 通信制高校生の社会参画

### — 継続的な支援を目指して —

新しい学校の会(略称:新学会)は、2024年度に第4回目となる大規模な通信制高校卒業生アンケート調査を実施しました。これまでの調査結果から卒業時進路未定だった卒業生のその後を見ると「何もしていない」など苦戦する状況がありました。また、大学や専門学校へ進学した卒業生では進学先の退学が一般学生に比べると高率で、こちらもその後の進路に行き詰まっている様子がありました。

このようなことから新学会では、3年計画(23年度から25年度)により①卒業生アンケート調査の継続、②卒業後を見越した在学中進路指導の研究、③有効な卒業生支援機関の開拓・連携などを進めています。

本稿では、卒業時進路未定者ならびに進学者、就職者で進路変更(退学、退職)のあった人のその後を中心に追っています。アンケート調査結果には卒業校ならびに先生方への多数の感謝の言葉が寄せられたことも付記します。

※本文中比率表記は小数点一位を四捨五入しています。

### 調査概要

調査目的…… 柔軟な学びのできる通信制高校を選んだ卒業生の進路実態を調査し、在校生ならびに卒業生の有用な社会参画の方策を探る。

調査方法…… Webアンケート調査及び電話ヒアリング調査(併用)

調査対象…… 卒業2年後(2022年度卒業生)並びに7年後(2017年度卒業生)の通信制高校卒業生(新学会加盟11校)

有効回答数…… 合計:4,123人(P8表2に回答者構成)

①卒業2年後卒業生:2,914人 ②卒業7年後卒業生:1,209人

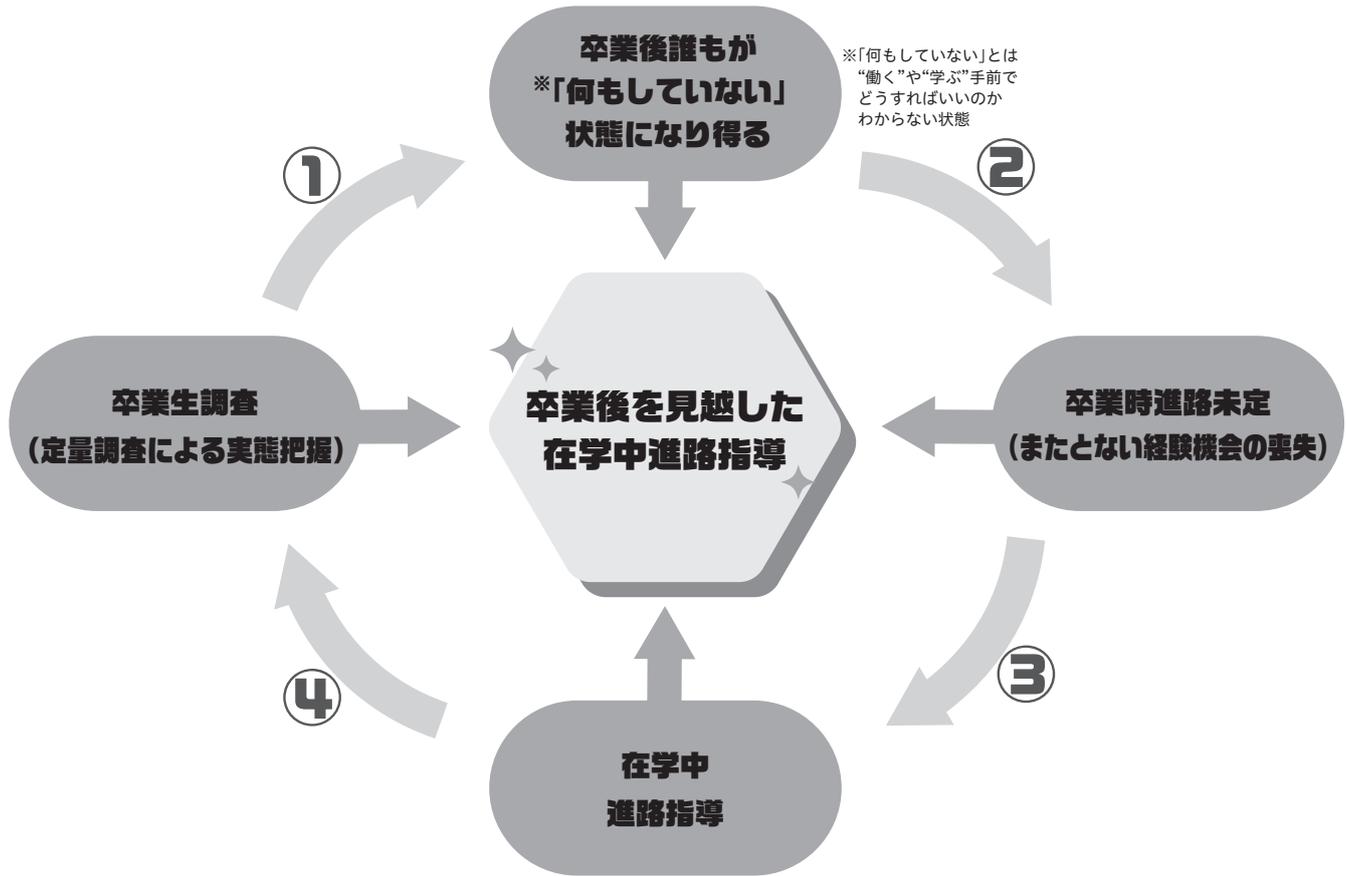
※「卒業後2年後」「卒業後7年後」とは、調査時期の関係で前者は卒業後1年8~10カ月、後者は6年8~10カ月の時期になります。

実査期間…… 2024年10月中旬~2025年1月中旬

調査協力…… 株式会社ライセンスアカデミー



## 《卒業後を見越した進路指導》



### 卒業後を見越した進路指導の必要性

通信制高校卒業生アンケート調査を行うことによって卒業生の実情が数値として定量的に把握できました。そこでわかったことは、上の図で見るように①定量調査による実態把握の必要性、②通信制高校卒業生の誰もが「何もしていない」状態になり得る、③「進路未定」はまたとない経験機会喪失の場合がある、④在学中進路指導に卒業後を見越した進路指導を加味することが有効な点です。

高校卒業生が卒業後どんな生活を送っているかは課程に関わらず体系的には把握できていないのが現状でしょう。新学会が行ってきた卒業生アンケート調査は、調査フォームを統一したうえでWeb調査と電話ヒアリングを併用しています。Web調査はGoogleフォームを活用して集計まで手軽にできます。電話ヒアリングは、担当者の負担がありますが定性的な卒業生の実情を知るうえでは大きな効果があります。また、本人ばかりでなく家族へヒアリングできる場合もあり得がたい情報を知ることができました。新学会では調査フォームを通信制高校関係者に公開しています。

これまで4回にわたる調査結果から通信制高校卒業生の誰もが「何もしていない」状態になり得ることがわかりました。「何もしていない」とは“働く”や“学ぶ”手前でどうすればいいのかわからない状態とされます。

しかし、苦戦する卒業生をサポートする方策までは踏み込めていないのが通信制高校各校の現実です。

通信制高校卒業生アンケート調査からは、卒業時進路未定だった人は20代半ばでもその多くが「何もしていない」状態となっていることや大学、専門学校進学後の退学率が一般学生に比べ高いこと、またその退学者の一定割合がその後「何もしていない」状態になっていることが明らかになりました。

このような実態は、長年通信制高校に携わっている方々には風の子よりを聞くようになんとなく感じていたことかもしれません。定量調査を行えば対応の方向が明確になるでしょう。

一方、通信制高校は不登校経験者が入学者の55%から60%を占めているため、学校生活などを通じた経験が不足しがちです。高校生時代にまたとない経験となるのが本来は進路決定です。自らの意志で、自らの進路を決定することです。「進路未定」とは、このせつかくの経験機会を素通りしてしまった状態です。

「卒業後も進路相談できると助かる」。これは、ある時点で「何もしていない」状態になった人たちから毎回聞かれる母校への要望です。苦戦している状況を打開するために誰かに相談するなら、まず母校の先生方の顔が思い浮かぶのでしょう。

卒業生相談窓口の開設は、開設した場合でもそれを周知するための方法や相談担当となる職員を新たに置くことの負担感が先に立ちます。その点からは、卒業生が接触する窓口は母校に置き、そこから相談内容への対応は支援機関や地域若者サポートステーションなどにつなげる方策があるように思います。

現状では卒業後に誰もが「何もしていない」状態になり得ることを念頭に置いた卒業後を見越した在学中の進路指導が求められています。

表1 高校生の卒業後進路（2023年度）

進路区分	全日制		定時制		通信制	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
大学等	565,914	62.7%	2,815	17.8%	22,342	26.5%
専門学校	169,858	18.8%	3,340	21.1%	20,641	24.4%
公共職業能力開発施設等	4,066	0.5%	392	2.5%	682	0.8%
<b>進学者合計</b>	<b>739,838</b>	<b>81.9%</b>	<b>6,547</b>	<b>41.4%</b>	<b>43,665</b>	<b>51.7%</b>
就職	124,515	13.8%	6,646	42.0%	16,942	20.1%
進路未定	38,650	4.3%	2,617	16.6%	23,798	28.2%
不詳・死亡	29	0.0%	2	0.0%	45	0.1%
<b>合計</b>	<b>903,038</b>	<b>100.0%</b>	<b>15,812</b>	<b>100.0%</b>	<b>84,450</b>	<b>100.0%</b>

図1 課程別進路未定者比率の推移

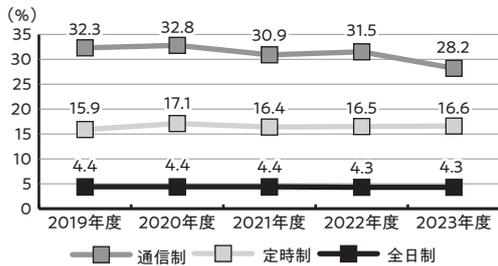
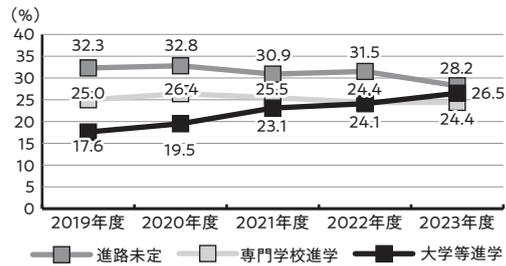


図2 通信制高校卒業後進路の推移



出所:表1、図1.2とも学校基本調査(文部科学省)

表2 新学会卒業生アンケート調査結果推移

進路区分	2022年度調査				2023年度調査				2024年度調査			
	20年度卒業		15年度卒業		21年度卒業		16年度卒業		22年度卒業		17年度卒業	
	人数	構成比										
大学	504	25.5%	578	28.2%	463	33.3%	421	32.0%	1,117	38.3%	329	27.2%
短大	50	2.5%	73	3.6%	42	3.0%	12	0.9%	29	1.0%	17	1.4%
専門学校・各種スクール	549	27.8%	561	27.4%	398	28.7%	380	28.9%	850	29.2%	334	27.6%
公共職業能力開発施設	20	1.0%	12	0.6%	17	1.2%	8	0.6%	6	0.2%	7	0.6%
就職	392	19.8%	539	26.3%	241	17.4%	295	22.5%	498	17.1%	311	25.7%
留学	18	0.9%	2	0.1%	15	1.1%	10	0.8%	11	0.4%	8	0.7%
進路未定	442	22.4%	283	13.8%	213	15.3%	188	14.3%	403	13.8%	203	16.8%
<b>合計</b>	<b>1,975</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,048</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,389</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,314</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,914</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,209</b>	<b>100.0%</b>

## 進路未定率低下でも懸念事態は残る

今回で4回目を迎えた通信制高校卒業生アンケート調査の実施背景は、通信制高校を選ぶ生徒が増えている一方で卒業時、卒業後に懸念される事態があることです。

その懸念事態とは、①卒業時進路未定率の高さ、②大学・専門学校進学者の退学率の高さ、③①及び②のその後の「何もしていない」率の高さーの3点です。「何もしていない」とは“働く”や“学ぶ”手前でどうすればいいのかわからない状態とされます。

卒業時進路未定率は、表1で見ると2023年度卒業生で通信制高校28%（公立41%、私立27%）に対して全日制4%、定時制17%となっています。課程間の格差はだいぶあります。

ただ、通信制高校の進路未定率は改善傾向にあります。進路未定率28%は、10年前の14年度40%（公立52%、私立37%）に比べ

れば10ポイント以上改善しました。背景は大学等進学率アップです。23年度は公私ともに初めて大学等進学率が専門学校進学率を上回りました（公立：大学等進学率16.4%、専門学校進学率15.5%、私立：同28%、同26%）。

新しい学校の会調査結果では、表2で見るように回答者の進路決定率が通信制高校平均値より大学・専門学校等進学、就職とも高くなっています。このため進路未定率は22年度卒業生14%、17年度卒業生17%と平均値の半分程度です。

通信制高校卒業生の進路は、大学学費無償化の進展や入試形態の多様化なども受けて大学進学率向上を背景に進路未定率が相対的に低下していくものと思われます。数年後には今回の新学会の調査結果同様に10%台後半の進路未定率も予想されます。調査結果からはそうなった場合でも懸念事態が残ることを示しています。

# 卒業時「進路未定」のその後

## 卒業2年後

### 卒業時

### 卒業から2年間の途中経過

### 卒業から2年後現在

2022年度卒業生の経過

卒業時の進路(2022年度卒業生)		
区分	件数	割合
大学	1,117	38.3%
短期大学	29	1.0%
専門学校	850	29.2%
公共職業訓練校等	6	0.2%
就職	498	17.1%
留学	11	0.4%
<b>進路未定</b>	<b>403</b>	<b>13.8%</b>
合計	2,914	100.0%

卒業時進路未定者(403人)の途中経過		
区分	件数	割合
大学進学	72	17.9%
専門学校進学	14	3.5%
就職	84	20.8%
アルバイト	62	15.4%
<b>何もしていない</b>	<b>169</b>	<b>41.9%</b>
公共職業訓練校等	2	0.5%
合計	403	100.0%

途中経過「何もしていない」(169人)2年後		
区分	件数	割合
在学中	1	0.6%
在職中	2	1.2%
アルバイト	46	27.2%
浪人生	4	2.4%
公共職業訓練校等	3	1.8%
<b>何もしていない</b>	<b>100</b>	<b>59.2%</b>
その他	13	7.7%
合計	169	100.0%

2021年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	463	33.3%
短期大学	42	3.0%
専門学校	398	28.7%
公共職業訓練校等	17	1.2%
就職	241	17.4%
留学	15	1.1%
<b>進路未定</b>	<b>213</b>	<b>15.3%</b>
合計	1,389	100.0%

卒業時進路未定者(213人)の途中経過		
区分	件数	割合
大学進学	12	5.6%
専門学校進学	5	2.3%
就職	18	8.5%
アルバイト	97	45.5%
<b>何もしていない</b>	<b>75</b>	<b>35.2%</b>
不明	6	2.8%
合計	213	100.0%

途中経過「何もしていない」(75人)2年後		
区分	件数	割合
在学中	0	0.0%
在職中	0	0.0%
アルバイト	0	0.0%
浪人生	14	18.7%
病気療養	8	10.7%
<b>何もしていない</b>	<b>48</b>	<b>64.0%</b>
その他	5	6.7%
合計	75	100.0%

## 卒業7年後

### 卒業時

### 卒業から7年間の途中経過

### 卒業から7年後現在

2017年度卒業生の経過

卒業時の進路(2017年度卒業生)		
区分	件数	割合
大学	329	27.2%
短期大学	17	1.4%
専門学校	334	27.6%
公共職業訓練校等	7	0.6%
就職	311	25.7%
留学	8	0.7%
<b>進路未定</b>	<b>203</b>	<b>16.8%</b>
合計	1,209	100.0%

卒業時進路未定者(203人)の途中経過		
区分	件数	割合
大学進学	17	8.4%
専門学校進学	4	2.0%
公共職業訓練校等	1	0.5%
就職	79	38.9%
アルバイト	33	16.3%
<b>何もしていない</b>	<b>68</b>	<b>33.5%</b>
不明	1	0.5%
合計	203	100.0%

途中経過「何もしていない」(68人)7年後		
区分	件数	割合
在職中	1	1.5%
アルバイト	20	29.4%
結婚	4	5.9%
<b>何もしていない</b>	<b>35</b>	<b>51.5%</b>
その他	8	11.8%
合計	68	100.0%

2016年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	421	32.0%
短期大学	12	0.9%
専門学校	380	28.9%
公共職業訓練校等	8	0.6%
就職	295	22.5%
留学	10	0.8%
<b>進路未定</b>	<b>188</b>	<b>14.3%</b>
合計	1,314	100.0%

卒業時進路未定者(188人)の経過		
区分	件数	割合
大学進学	3	1.6%
専門学校進学	2	1.1%
公共職業訓練校等	1	0.5%
就職	66	35.1%
アルバイト	31	16.5%
<b>何もしていない</b>	<b>85</b>	<b>45.2%</b>
合計	188	100.0%

途中経過「何もしていない」(85人)7年後		
区分	件数	割合
在職中	2	2.3%
アルバイト	1	1.2%
病気療養	2	2.3%
<b>何もしていない</b>	<b>78</b>	<b>90.7%</b>
その他	3	3.5%
合計	86	100.0%

※専門学校には各種スクールを含む

## 卒業生相談窓口が望まれる

卒業時進路未定者の卒業後の経過を見ると、卒業2年後の2022年度卒業生は大学や専門学校への進学、就職など活発な様子があります。23年度調査ではアルバイトの比率が高くなっていましたが24年度調査では就職比率がアルバイトを上回っています。経済環境の好転が反映されているようです。

22年度卒業生は2年間の経過のなかで42%の人が「何もしていない」状態となり、このうちさらに2年後現在も59%の人が「何もしていない」状態となっています。17年度卒業生では7年間の経

過のなかで34%の人が「何もしていない」となり、このうちさらに7年後現在も52%の人が「何もしていない」状態です。「何もしていない」状態が固定化してしまう傾向があります。

卒業2年後の人からは母校へ期待することとして「卒業後も進路相談できると助かる」という回答が複数あり目立ちました。卒業7年後の人からは「卒業後の進路相談など、どうすればいいかわからなかったのでアドバイスしてほしい」という要望がありました。また、「社会に適用できない卒業生の対応例があれば些細な事でも情報を頂きたい」という具体的な事例を知りたいという要望もありました。

# 卒業時「大学進学」のその後

## 卒業2年後

卒業時

卒業から2年間の途中経過

卒業から2年後現在

2022年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	1,117	38.3%
短期大学	29	1.0%
専門学校	850	29.2%
公共職業訓練校等	6	0.2%
就職	498	17.1%
留学	11	0.4%
進路未定	403	13.8%
合計	2,914	100.0%

大学進学者(1,117人)の途中経過		
区分	件数	割合
卒業した	36	3.2%
在学中	981	87.8%
進学した(大学院等)	2	0.2%
転学した	2	0.2%
退学した	96	8.6%
合計	1,117	100.0%

途中経過「退学した」(96人)2年後		
区分	件数	割合
在学中	14	14.6%
在職中	30	31.3%
アルバイト	6	6.3%
何もしていない	45	46.9%
その他	1	1.0%
合計	96	100.0%

2021年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	463	33.3%
短期大学	42	3.0%
専門学校	398	28.7%
公共職業訓練校等	17	1.2%
就職	241	17.4%
留学	15	1.1%
進路未定	213	15.3%
合計	1,389	100.0%

大学進学者(463人)の途中経過		
区分	件数	割合
卒業した	7	1.5%
在学中	439	94.8%
進学した(大学院等)	1	0.2%
転学した	2	0.4%
退学した	14	3.0%
合計	463	100.0%

途中経過「退学した」(14人)2年後		
区分	件数	割合
在学中	3	21.4%
在職中	1	7.1%
アルバイト	3	21.4%
何もしていない	6	42.9%
その他	1	7.1%
合計	14	100.0%

## 卒業7年後

卒業時

卒業から7年間の途中経過

卒業から7年後現在

2017年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	329	27.2%
短期大学	17	1.4%
専門学校	334	27.6%
公共職業訓練校等	7	0.6%
就職	311	25.7%
留学	8	0.7%
進路未定	203	16.8%
合計	1,209	100.0%

大学進学者(329人)の途中経過		
区分	件数	割合
在学中	19	5.8%
卒業した	238	72.3%
進学(大学院等)	8	2.4%
転学	4	1.2%
退学	60	18.2%
合計	329	100.0%

途中経過「退学」(60人)7年後		
区分	件数	割合
在学中	2	3.3%
在職中	29	48.3%
アルバイト	8	13.3%
何もしていない	20	33.3%
その他	1	1.7%
合計	60	100.0%

2016年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	421	32.0%
短期大学	12	0.9%
専門学校	380	28.9%
公共職業訓練校等	8	0.6%
就職	295	22.5%
留学	10	0.8%
進路未定	188	14.3%
合計	1,314	100.0%

大学進学者(421人)の途中経過		
区分	件数	割合
在学中	22	5.2%
卒業した	301	71.5%
進学した(大学院等)	10	2.4%
転学した	3	0.7%
退学した	85	20.2%
合計	421	100.0%

途中経過「退学」(85人)7年後		
区分	件数	割合
在学中	3	3.5%
在職中	38	44.7%
アルバイト	8	9.4%
何もしていない	32	37.6%
その他	4	4.7%
合計	85	100.0%

※専門学校には各種スクールを含む

## 退学後「何もしていない」状態へ

卒業時大学進学者の卒業後の経過を見ると、卒業2年後の2022年度卒業生は88%が大学在学中です。退学した人は9%となり、21年度卒業生の3%と比べると格差があります。大学の退学率は2~3%と言われますから高い退学率と言えます。

卒業7年後までの経過を見ると退学率が上がり18%となります。これは前年度調査では20%でしたらからほぼ同様となります。大学生活後半で退学となる傾向が見られます。

退学した人の2年後現在を見ると在学中と在職中を合わせて

46%となりますが、ほぼ同率の47%の人が「何もしていない」状態となっています。7年後現在では在職中が48%を占めるようになりますが、「何もしていない状態」の人も33%となっています。この傾向は前年度調査でも同様の結果となっています。

17年度卒業生からは母校への要望として「なんらかの理由で通うことができない学生さんが入学されることが多いかと思うので、卒業後も在宅での生活が可能な選択肢を作るために通信制大学の紹介や将来的に在宅ワークの雇用につながるWEBマーケティング学習の講座があったら心強かったなと思います」という回答がありました。

# 卒業時「専門学校・各種スクール進学」のその後

## 卒業2年後

卒業時

卒業から2年間の途中経過

卒業から2年後現在

2022年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	1,117	38.3%
短期大学	29	1.0%
<b>専門学校</b>	<b>850</b>	<b>29.2%</b>
公共職業訓練校等	6	0.2%
就職	498	17.1%
留学	11	0.4%
進路未定	403	13.8%
合計	2,914	100.0%

専門学校進学者(850人)の途中経過		
区分	件数	割合
卒業した	275	32.4%
在学中	433	50.9%
進学した(大学院等)	4	0.5%
<b>退学した</b>	<b>137</b>	<b>16.1%</b>
合計	850	100.0%

途中経過「退学した」(137人)2年後		
区分	件数	割合
在学中	7	5.1%
在職中	37	27.0%
アルバイト	42	30.7%
求職・訓練中	1	0.7%
<b>何もしていない</b>	<b>50</b>	<b>36.5%</b>
その他	0	0.0%
合計	137	100.0%

2021年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	463	33.3%
短期大学	42	3.0%
<b>専門学校</b>	<b>398</b>	<b>28.7%</b>
公共職業訓練校等	17	1.2%
就職	241	17.4%
留学	15	1.1%
進路未定	213	15.3%
合計	1,389	100.0%

専門学校進学者(398人)の途中経過		
区分	件数	割合
卒業した	14	3.5%
在学中	337	84.7%
進学した(大学院等)	1	0.3%
<b>退学した</b>	<b>46</b>	<b>11.6%</b>
合計	398	100.0%

途中経過「退学した」(46人)2年後		
区分	件数	割合
在学中	5	10.9%
在職中	6	13.0%
アルバイト	18	39.1%
求職・訓練中	2	4.3%
<b>何もしていない</b>	<b>12</b>	<b>26.1%</b>
その他	3	6.5%
合計	46	100.0%

## 卒業7年後

卒業時

卒業から7年間の途中経過

卒業から7年後現在

2017年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	329	27.2%
短期大学	17	1.4%
<b>専門学校</b>	<b>334</b>	<b>27.6%</b>
公共職業訓練校等	7	0.6%
就職	311	25.7%
留学	8	0.7%
進路未定	203	16.8%
合計	1,209	100.0%

専門学校進学者(334人)の途中経過		
区分	件数	割合
在学中	8	2.4%
卒業した	258	77.2%
進学した(大学院等)	2	0.6%
<b>退学した</b>	<b>66</b>	<b>19.8%</b>
合計	334	100.0%

途中経過「退学した」(66人)7年後		
区分	件数	割合
在学中	2	3.0%
在職中	31	47.0%
アルバイト	12	18.2%
その他	2	3.0%
<b>何もしていない</b>	<b>19</b>	<b>28.8%</b>
合計	66	100.0%

2016年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	421	32.0%
短期大学	12	0.9%
<b>専門学校</b>	<b>380</b>	<b>28.9%</b>
公共職業訓練校等	8	0.6%
就職	295	22.5%
留学	10	0.8%
進路未定	188	14.3%
合計	1,314	100.0%

専門学校進学者(380人)の途中経過		
区分	件数	割合
在学中	2	0.5%
卒業した	296	77.9%
転学した	2	0.5%
<b>退学した</b>	<b>80</b>	<b>21.1%</b>
合計	380	100.0%

途中経過「退学した」(80人)7年後		
区分	件数	割合
在学中	3	3.8%
在職中	42	52.5%
アルバイト	5	6.3%
その他	2	2.5%
<b>何もしていない</b>	<b>28</b>	<b>35.0%</b>
合計	80	100.0%

※専門学校には各種スクールを含む

## 一般学生に比べると高い退学率

卒業時専門学校進学者(各種スクール含む)の卒業後の経過を見ると、卒業2年後の2022年度卒業生は「在学中」が51%を占めています。この一方「卒業した」という回答者が33%を占めました。前年度調査では調査時点(卒業後1年8~10カ月)で「卒業した」という回答者は4%でしたから今年度調査の回答者は1年制の専門学校などに進学した卒業生が一定数あったようです。

退学した人は、22年度卒業生は16%、17年度卒業生は20%となっています。専門学校退学率は6~7%とされますからそれに比

べると高い退学率となります。これは前年度調査結果とほぼ同様となりました。

退学した人の現在の状態を見ると、「何もしていない」状態の人は卒業2年後現在で39%、7年後現在29%となっています。卒業2年後の人からは「専門学校に進学しましたが学校環境の変化などで体調を崩してしまい退学しました。その後は車の免許の取得や約半年間のアルバイトを経て今は就労移行支援に通ってます」と次への準備をしている人も目立ちます。自動車免許を取得中という人は複数ありました。一方、卒業7年後の人からの自由回答記述は少ない結果となりました。

# 卒業時「就職」のその後

## 卒業2年後

卒業時

卒業から2年間の途中経過

卒業から2年後現在

2022年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	1,117	38.3%
短期大学	29	1.0%
専門学校	850	29.2%
公共職業訓練校等	6	0.2%
<b>就職</b>	<b>498</b>	<b>17.1%</b>
留学	11	0.4%
進路未定	403	13.8%
合計	2,914	100.0%

就職者(498人)の途中経過			
区分	件数	割合	
在職中	337	67.7%	
<b>退職した</b>	<b>161</b>	<b>32.3%</b>	
合計	498	100.0%	

途中経過「退職した」(161人)2年後		
区分	件数	割合
在学中	5	3.1%
在職中	77	47.8%
アルバイト	44	27.3%
<b>何もしていない</b>	<b>23</b>	<b>14.3%</b>
その他	12	7.5%
合計	161	100.0%

2021年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	463	33.3%
短期大学	42	3.0%
専門学校	398	28.7%
公共職業訓練校等	17	1.2%
<b>就職</b>	<b>241</b>	<b>17.4%</b>
留学	15	1.1%
進路未定	213	15.3%
合計	1,389	100.0%

就職者(241人)の途中経過			
区分	件数	割合	
在職中	190	78.8%	
<b>退職した</b>	<b>51</b>	<b>21.2%</b>	
合計	241	100.0%	

途中経過「退職した」(51人)2年後		
区分	件数	割合
在学中	0	0.0%
在職中	15	29.4%
アルバイト	23	45.1%
<b>何もしていない</b>	<b>10</b>	<b>19.6%</b>
その他	3	5.9%
合計	51	100.0%

## 卒業7年後

卒業時

卒業から7年間の途中経過

卒業から7年後現在

2017年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	329	27.2%
短期大学	17	1.4%
専門学校	334	27.6%
公共職業訓練校等	7	0.6%
<b>就職</b>	<b>311</b>	<b>25.7%</b>
留学	8	0.7%
進路未定	203	16.8%
合計	1,209	100.0%

就職者(311人)の途中経過			
区分	件数	割合	
在職中	229	73.6%	
<b>退職した</b>	<b>82</b>	<b>26.4%</b>	
合計	311	100.0%	

途中経過「退職した」(82人)7年後		
区分	件数	割合
在学中	4	4.9%
在職中	29	35.4%
アルバイト	11	13.4%
その他(主婦など)	9	11.0%
<b>何もしていない</b>	<b>29</b>	<b>35.4%</b>
合計	82	100.0%

2016年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	421	32.0%
短期大学	12	0.9%
専門学校	380	28.9%
公共職業訓練校等	8	0.6%
<b>就職</b>	<b>295</b>	<b>22.5%</b>
留学	10	0.8%
進路未定	188	14.3%
合計	1,314	100.0%

就職者(295人)の途中経過			
区分	件数	割合	
在職中	174	59.0%	
<b>退職した</b>	<b>121</b>	<b>41.0%</b>	
合計	295	100.0%	

途中経過「退職した」(121人)7年後		
区分	件数	割合
在学中	1	0.8%
在職中	86	71.1%
アルバイト	8	6.6%
<b>何もしていない</b>	<b>23</b>	<b>19.0%</b>
その他(主婦)	3	2.5%
合計	121	100.0%

※専門学校には各種スクールを含む

## 卒業7年後の離職率が高まる

調査回答者の就職率は、2022年度卒業生17%、17年度卒業生26%となっています。これは私立通信制高校平均19%(23年度)と比較して前者は同程度、後者は高い結果になりました。

卒業時就職した人の卒業後の経過を見ると、卒業2年後の22年度卒業生は「在職中」68%、「退職した」32%となっています。17年度卒業生では「在職中」74%、「退職した」26%となっています。厚生労働省によると新規高卒就職者の3年以内離職率は38%とされますから同程度と見られます。

退職した人の現在の状態を見ると、「何もしていない」状態の人

は卒業2年後現在14%、7年後現在35%となっています。前年度調査に比べる卒業7年後の人の率が19%から顕著に上昇しています。自由回答記述も少なくこの背景にはわかりませんが「就職しても長続きしない」「退職後アルバイトを転々としたがそれもやめて今は何もしていない」などの回答が複数寄せられています。

一方、卒業2年後現在で「何もしていない」人には「退職したばかり。これから就職活動をするとこ」「引越に伴い、転職中」など次のステップへ動き出そうとしている様子が多く見られます。また、職場環境が合わずに通院中という人や結婚などにより家庭環境が変わった人もいます。

# 卒業時「短期大学進学」のその後

## 卒業2年後

卒業時

卒業から2年間の途中経過

卒業から2年後現在

2022年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	1,117	38.3%
<b>短期大学</b>	<b>29</b>	<b>1.0%</b>
専門学校	850	29.2%
公共職業訓練校等	6	0.2%
就職	498	17.1%
留学	11	0.4%
進路未定	403	13.8%
合計	2,914	100.0%

短期大学進学者(29人)の途中経過		
区分	件数	割合
卒業した	1	3.4%
在学中	25	86.2%
進学した(大学院等)	1	3.4%
転学した	1	3.4%
退学した	1	3.4%
合計	29	100.0%

短期大学進学者(29人)2年後現在		
区分	件数	割合
在学中	27	93.1%
在職中	2	6.9%
何もしていない	0	0.0%
合計	29	100.0%

## 卒業7年後

卒業時

卒業から7年間の途中経過

卒業から7年後現在

2017年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	329	27.2%
<b>短期大学</b>	<b>17</b>	<b>1.4%</b>
専門学校	334	27.6%
公共職業訓練校等	7	0.6%
就職	311	25.7%
留学	8	0.7%
進路未定	203	16.8%
合計	1,209	100.0%

短期大学進学者(17人)の途中経過「全体」		
区分	件数	割合
卒業した	16	94.1%
退学した	1	5.9%
合計	17	100.0%

短期大学進学者(17人)7年後現在		
区分	件数	割合
在職中	14	82.4%
アルバイト	1	5.9%
その他(主婦)	1	5.9%
何もしていない	1	5.9%
合計	17	100.0%

※専門学校には各種スクールを含む

# 卒業時「留学」のその後

## 卒業2年後

卒業時

卒業から2年間の途中経過

卒業から2年後現在

2022年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	1,117	38.3%
短期大学	29	1.0%
専門学校	850	29.2%
公共職業訓練校等	6	0.2%
就職	498	17.1%
<b>留学</b>	<b>11</b>	<b>0.4%</b>
進路未定	403	13.8%
合計	2,914	100.0%

留学者(11人)の途中経過		
区分	件数	割合
在学中	8	72.7%
卒業した	3	27.3%
合計	11	100.0%

留学者(11人)2年後		
区分	件数	割合
在学中	8	72.7%
在職中	1	9.1%
アルバイト	1	9.1%
何もしていない	0	0.0%
その他	1	9.1%
合計	11	100.0%

## 卒業7年後

卒業時

卒業から7年間の途中経過

卒業から7年後現在

2017年度卒業生の経過

卒業時の進路		
区分	件数	割合
大学	329	27.2%
短期大学	17	1.4%
専門学校	334	27.6%
公共職業訓練校等	7	0.6%
就職	311	25.7%
<b>留学</b>	<b>8</b>	<b>0.7%</b>
進路未定	203	16.8%
合計	1,209	100.0%

留学者(8人)の途中経過		
区分	件数	割合
在学中	0	0.0%
卒業した	7	87.5%
進学(大学院等)	1	12.5%
転学した	0	0.0%
合計	8	100.0%

留学者(8人)7年後		
区分	件数	割合
在学中	0	0.0%
在職中	8	100.0%
その他	0	0.0%
合計	8	100.0%

※専門学校には各種スクールを含む